



広げよう「友好と奉仕」の輪

会長 西井 勝明

人類に奉仕するロータリー

本日は 第3005回 例会
プログラム
シーニックバイウェイについて
No.2818 11月17日(木)

次週以降の予定
11月24日(木)地区国際奉仕事業について
12月1日(木)年次総会
12月8日(木)忘年会(夜間)

第3004回 例会報告

2016年 11月10日(木)

副会長挨拶・報告



本日のゲストとビジターをご紹介します。2510地区のバストガバナーであります、丸山淳士様財団委員長としてお見えます。赤平RCから13名、砂川RCから曾我会長、松原国際奉仕委員長。

西井会長から電話がありまして、弱気になっていまして、なかなか良くならないので会長を辞めるといことも匂わしたみたいでしたので、その言葉を打ち消しましたので会長である間は会長をやってくださいと、私が代行しますという風にご返事致しました。

幹事報告



- ①. 地区より台風大雨災害義援金の要請があり、皆様のご協力により、50,150円を送金しました。
- ②. 芦別・深川・美唄・留萌より会報、ガバナー月信11月号も届いております。
- ③. 本日午後6時半より第10回の定例理事会を開催します。
- ④. 赤い羽根共同募金の募金箱を前回まわしていますが、羽根が不足していたようです。羽根のみ取ってください。再度募金箱を回します。
- ⑤. 私事ですが、昨日までジュニア大使の団長としてアメリカに行っていました。11月3日、アッシュフォード町にシリアスパンという世界中のキッズキャンプの本部がありまして、そこに立ち寄りまして。ちょうどその日ロンドンで理事会があり、そらぶちキッズキャンプが正式メンバーとして認められたということです。正式メンバーになると年間500万円程度の支援金が1,000万円ぐらいになる。一度正式メンバーになると、一定の回数キャンプそれとキャンプの質を保たなければならない、ということで、キャンプの運営が益々充実するんじゃないかと思いました。

11月の祝福

ロータリーの友誌紹介



【ロータリー財団委員会担当例会】

—講師卓話—



島山 かおる ロータリ財団委員長 挨拶

「ロータリー財団を知ろう」



地区財団委員長・札幌真駒内RC

丸山 淳士 様

滝川RC財団委員長から、RC財団の話をしてくれということで、アーチ・克蘭フというRI会長、これが1917年の世界大会に、何かいいことをしようということでRC会員の有力者から寄付を集めて、翌年障害者施設に寄付をした。これと同じようなことを、国際RCに提案したのが1917年。1928年にRC財団という名前で国際RCに翌年に寄付した。この活動と同じようなことをしたらどうかと提案し、1928年RI財団が正式に採用された。

国際RCの方も7・8年前のリーマンショックというのがありまして、それから全く利益が出てない状態で、財団のほうも3年間皆さんの寄付を寝かして、その余った利息でもって奉仕しようということでしたから、そのリーマンショックの時から国際RCは、人頭分担当金を上げないやっつけられない状態だったんですけど、財団の方も全く同じなんですね。だから今年の新規定審議会で、来年度から人頭分担当金3年間で返済する額を決めまして、年間4ドルずつ値上げするということに決まりました。決まった時には理事一同が泣いていました。事務総長も泣いていました。笑っていたのはRIの会長だけでした。3年間で赤字になると専門の会計事務所が保証してくれました。それで国際RCの方はこれで安心ということですけど、財団の方は同じだけの額の赤字を抱えていまして、これは寄付だけでやっていますので、会費を皆さんから徴収するわけにはいかない。何とか早くに金を集めて返済しようというので、数えたら1917年から100年だから、ちょうどいい折で、国際RCに合わせて皆さんから金を集めようということですから、100年のお祝いというのは、こういうことをしたら少しでも利益を上げるような金を集めて財団に寄付をしてくれとこういうことです。だから、お祝いをやって一銭にもならないようなお祝いはやらんでほしいのです。しかも財団から金を引き出してお祝いをやるのはやめてくれ。本音は街頭募金でも何でもいから会員一人から100円ずつでもいいから集めて財団に寄付してくれというのが本音です。

財団の委員長だけはやりたくなかったのですが今年からやることになりました。

RC財団14年前までは、沢山プログラム一つずつ増えていきました。金も溜まっておりました。会員もどんどん増えました。ですから余って余ってじゃあどうしようかと、これも奉仕にしよう、これも奉仕にしようと増やしてプログラムが14個個になりました。で、その申請たるや非常に、この今みたいにネットとかそういうものがございま

せんで、紙に書いて送る、日本語が読めない、そうすると日本語を読める職員を雇う、色んなことになって、煩雑を極めて非常に手続きが面倒だ、使う金も使えないという事になって、10年前にプログラムを絞るうじゃないかという事から、絞って行って、将来はもっと簡単な手続きで奉仕活動ができるようにしようということで、それを夢計画という風に言ったんです。夢を見るというのはRCの得意なところでありまして、誰が夢を見ているんだ、誰が見ているんでしょう、よくわからないんですけど。夢計画が一昨年から実際に実施されて現在2年目。実施される前に夢計画で立てた時に30年間かかって成し遂げた奉仕のお金が、3年間でできるということが分かった。実際に3年間で30年分の奉仕活動を3年間でやった。だからこれを本当のプログラムにとり入れたらおそらくこれは、有効な使い方ができるだろうと言ってる時の、リーマンショックでございました。それまでは会員も増加の一途をたどっておりましたが、先進国から順番に会員が減っていきました。アメリカが一番先に減り始め、次に日本が減り始めました。そしたら今度はイギリスやカナダが別の組織を作って独立しました。イギリスのほうにあるフランスも含めてヨーロッパのRCは会員を増やしております。それだからそちらで採用されたプログラムを本家の国際RCも今度は取り入れていなければならないというような場面まで来まして、それが色々規定審議会でも本題になって、今まで国際RCがやっていたプログラムよりもカナダでは祝日なんか週に1回でもあったら全部休みにしてる。これでもって会員を増やしている。そういう案を出してきてそれを見習おうということになって今年の規定審議会委員は本当に沢山もめました。会費の値上げからありまして、本当は私補欠だったんです。

規定審議会が行われました。その結果なんです、手続き要覧日本語に訳しておりまして12月皆さんの手元に届く予定です。

現在国際RCのホームページから日本語訳の手続き要覧が一部だけですが見る事ができます。クラブのいいように、地元にあったようにして、クラブで勝手にクラブ手続き要覧を決めてやってくれというのが本来なんです。それを優しく見守ってるのが国際RCということが段々外れてきて、国際RCが統制するというような事になっていった反発だという風に思っています。いい方に向かっていきますのでご安心下さい。規定審議会には、全国から560名の代議員が集まりました。一地区から1名、これは必ずパストガバナーと決まっております、ですから私ねちょうど真ん中くらいの年齢でして、ほとんどは私より年上です。一生懸命皆さん討議しておりました。

ロータリー財団、これだけは知っておきたいロータリーの基礎という名古屋のRCが発行した本があります。財団委員長に差し上げておきます。

田中角栄また出てくるんです、相手が立てなくなるまでやっつければ敵方の遺恨は去らない。徹底的に論破してしまえば相手が救われない。土俵際に追い詰めるけど土俵の外に追い出してはいけない。これは田中角栄の言葉です。面白いです。新聞で信用できるものが3つある、1つは死亡記

事、2つ目は株の値段、3つ目はテレビの案内欄、この3つは信用できる。

一人の音痴がそのクラスにいることによって、そのクラスは歌がうまい人が必ず出る。皆が歌がうまければその中からうまい人は出ないんです。だから、その悪い人を残しておくというのが人間の体を例にとらなくても非常に大切なことなのです。RCそうなんです、いい人と悪い人がいてくれないと困るんです。

財団委員長を女性にしたという滝川RCの英断は素晴らしい。ロータリー財団は、赤字を抱えておりまして、皆様の寄付をお待ち申し上げております。差し当てって、私もちょっとだけですけど寄付させていただきまして、羽部ガバナーはがっぱり寄付してくれました。それが3年後に地区に還元されます。お陰で来年度は凄い潤います。ぜひ色々な企画をして下さい。来年2510地区は凄く金に余裕がでます。羽部さんのおかげです。これから、滝川RCのおかげですと言ってほしいけれど、財団に寄付をお願いします。

ニコニコBOX

丸山 淳士会員

公私として（地区ロータリー財団委員長・札幌真駒内RCPG）

曾我 悦工会員

ビジターとして参加させていただき（砂川RC会長）

神部 洋史会員

丸山財団委員長をお迎えして、遠路・雪道ありがとうございます。

渡邊 恭久会員

丸山パストガバナーを例会にお迎えし、心から歓迎いたします。赤平・砂川の皆様、ご苦労様でした。

鈴木 忠男会員

丸山パストガバナーの素晴らしい卓話を久しぶりに拝聴して。

細田 光人会員

結婚祝いをいただき有難うございます。

佐竹 春敏会員

結婚記念お祝いをしました。11月24日です。花束を渡します。

近藤 正孝会員

妻の母の葬儀には、多くの会員の皆様に参列して頂きました。ご挨拶は次週しますので、よろしく申し上げます。有難うございました。

会長／西井 勝明
幹事／坂本 和繁
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL(0125)22-3344

FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。